

磐城時報 第七十 日刊

福島縣石城郡平町掛屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成 印刷所 石城郡平町掛屋町十四 印刷 福島縣石城郡平町掛屋町十四 廣告料 一行十四字 一月金拾五圓 半年金廿八圓 一年金五拾圓 日刊(日曜、祭日)休刊

比佐代議士が郡民に 三候補者を推薦 萩原、草野、石川三氏も 連名で依頼状

石城民政黨部長比佐代議士は十七日草野三郎、石川德壽、萩原義雄三氏のため左の如き依頼状を郡内に配布したが、同時に三候補者も夫々依頼状を發送した、比佐代議士の推薦依頼状並に三候補者の依頼状左の如し。

縣議戰運動に現はれた 石城民政の内訌 今度は當選妨害の騒ぎ

石城民政黨は若松派と野崎派に分裂し紛糾を續けてゐる事一般が知悉する處で、今回の縣會議員候補者推薦に於ても互に反目抗争を續け若松派に於ては萩原と認め茲に公認候補者として推薦仕候、今回の選挙は本部會として重要な意義を有する所に有之候間願くば微意の存する所を御察被下右三君共に多数を以て當選の榮冠を得せしめらるゝ様御援助を賜はり度切望に堪えず

本月廿五日縣會議員選舉を行はるゝに際し過般開催の豫選會に於て同志各位の推薦を辱ふし不肖等はからず立候補反對態度を示してゐる。

理由並に政策を左の如く發表した。 一、立候補の理由 一、廣汎に亘る大衆生活破壊の既成政黨政治の打倒 一、破壊された大衆生活の再建 一、破産した大衆生活の再建 一、破産した大衆生活の再建 一、破産した大衆生活の再建

石城郡町村長會で 爾檢定所設置陳情 平町は濱通りの好適地

石城郡町村長會では明年度から設置する、爾檢定所を平町に設置するやう運動をなす事となつてゐたが、十七日左の如き陳情書を川崎知事に提出した。 爾檢定所設置の儀に付陳情昭和七年より爾檢定所を設置せらる可き御計劃なるやに承り當業界の一大福音として欣喜に堪えざる處に候目下縣費極めて極めて緊縮の折柄に候得共是非御英斷を賜はり實現せられん事を念願致候

外遊だより 第三信 ベルギー國オステンドにて 海軍中佐 高木武雄(寄)

第三日は瑞西から佛蘭西、それから獨逸と巡つたわけでした。荷物の調べを三回受けました。いやなもので、きりぎり一杯に整頓してつめた手荷物をさらさらと目茶にかき廻はされてはあとで靴の口が締まらない、その内に汽車が来る、汗だくです。 第四日はコルン市から西へ走

本郡は遙かに多きを占め居る儀に候此点御明察被成下願檢所を本郡平町に設置の儀御詮議相仰度町村長會支會の決議により豫め此段及陳情候也 福島縣知事川崎末五郎殿 石城支會長 伏見彦衛

五十の老婆 ヒステリーで縊死

石城郡内郷村大字竹内善吉母木なつた辯士は木村代議士外數名村キヨ(五三)は十五日朝自宅で縊死を遂げた、平署から佐藤部長出張視察したが、同人は獨身者で強度のヒステリーに罹つてゐたものである。

井上候補の政見演説會

政友會公認候補井上茂作氏の政見演説會は十七日午後六時學校に開催するが石城郡でも多數出品す可く準備中である。

之れが僕の今度の旅行の風景で、之れでも外人から汽車の乗り方を尋ねられたり、切符買ひ方の手傳を頼まれたりしたこともあつたので、すから下には下が六日間、言葉と貨幣との選ぶ五ヶ國を巡つたはさき、必要な言葉は皆忘れられたが、残りのお金だけは各國のがこつちやになつて、和蘭、白耳義などはよく、言葉が通じなくなりました。青い眼をした御人形ではないが、併し性來の暢氣者として決して「涙を一杯ためて居たことはありませんでした」

之れが僕の今度の旅行の風景で、之れでも外人から汽車の乗り方を尋ねられたり、切符買ひ方の手傳を頼まれたりしたこともあつたので、すから下には下が六日間、言葉と貨幣との選ぶ五ヶ國を巡つたはさき、必要な言葉は皆忘れられたが、残りのお金だけは各國のがこつちやになつて、和蘭、白耳義などはよく、言葉が通じなくなりました。青い眼をした御人形ではないが、併し性來の暢氣者として決して「涙を一杯ためて居たことはありませんでした」

之れが僕の今度の旅行の風景で、之れでも外人から汽車の乗り方を尋ねられたり、切符買ひ方の手傳を頼まれたりしたこともあつたので、すから下には下が六日間、言葉と貨幣との選ぶ五ヶ國を巡つたはさき、必要な言葉は皆忘れられたが、残りのお金だけは各國のがこつちやになつて、和蘭、白耳義などはよく、言葉が通じなくなりました。青い眼をした御人形ではないが、併し性來の暢氣者として決して「涙を一杯ためて居たことはありませんでした」

大平陸四郎氏 立候補断念

石城郡南より立候補を傳へられ
てゐた勿來町長大平陸四郎氏は
比佐派の感撫によつて茲に全く断
念する事となり同氏一派は泣き
寝入りの体となつた、然し地盤
堅固な別天地といふべき完全
地帯より一人の候補も立て得な
かつたといふことは郡南の恥辱
でもあり、前例のないことで今
後に悪例を残すものであるとの
不満は假令内面的にせよ同方部
有権者の腦裡には牢固として拂
ふことが出来ないものあり反對
政友派と雖もまだ遺憾に感じて
ゐる状態、將來郡南は黨派對大
平派に完全に反目を來すものと
見られてゐる而して大平派は表
面納得妥協を見せてゐるも内心
面白からざるものあるので野崎
派と提携する事となつたらしく
郡南の投票結果こそ極めて興味
あるところである。

滿洲駐屯兵に 五十圓贈る

石城郡野崎村では十六日區長會
を開き同村出身の滿洲駐屯兵に
對し慰勞のため五十圓を送る事
になつた。

選舉郵便で 平局大車輪

石城郡下の縣選戰はいよいよ白
熱化して來た、各候補は郡下の
各町村に入り亂れの言論戰に主
力を傾注してゐる、立候補宣言書
推薦狀の郵送は十四日野崎候補
の三萬八千余通が先づトップを
切つて平局に持ち込まれた、平
局では臨時に十四日から十日間

十名の臨時雇員を増員し目まぐ
るしい多忙である。

四倉爾市場取引

四倉爾市場十五日取引左の如し
出廻り五十七貫、最高三十三
圓六十錢、最低二十八圓九十
錢、平均三十圓九十錢。

四倉爾市場

取引一萬七千貫
四倉爾市場十六日取引は三十四
貫七百三十匁最高三十圓六十錢
最低二十九圓六十錢平均三十圓
で秋爾開始以來の取引一萬七千
百七十六貫、金額二萬百五十九
圓六十三錢である。

病室完備
X光線科
上田外科醫院
電話一三九番

スポンジ
信長命堂
平野邊藥局

治淋新劑
強タカジリン
大平屋藥店

腸胃科
皮膚科
院醫科

開業廣告
増田耳鼻咽喉科醫院

吉崎合名會社
福島縣平町

冬の通學服
ふかや洋服店

吉田眼科病院
平町紺屋町

開院
難波醫院

耳鼻咽喉科
氣管食道科

高久病院
内科小兒科

井坂醫院
婦人科